

兒童救急手當法

(承前)

醫學士 藤井 秀 旭

凍瘡

身體の内血の循環の悪い所例へば耳、鼻尖、指趾等は凍瘡に罹り易い。凍瘡といふのは第一度の凍傷を指すのであります。そして其病症の程度に三段があります。これを便宜上

第一度 輕 症

第二度 中 等

第三度 重 症

に分けて説明いたしますと、第一は皮膚の色が青みかゝつた赤い色になり、腫れて來て熱くなり、其上に癢痒が甚しく、又痛みが生じて來ます。

第二度は、鼻なり耳なりに水腫が出來、其の内容色は血の色になるのが多いのであります。

第三度は其の部分の感覺がなくなつて、血行が絶えてしまうのであります。血行が止つて身體の一部の死ぬことを「壞死」と云つて居ります。其手當

凍傷の手當も、前に述べた凍返と同じように、急に温めると云ふことは可けないので、冷いところから、だん／＼と温くするようにしなければなりません。同様に、凍瘡に罹つた部分を火にあぶるといふことはよくない事でありませす。手などの部分なれば水の中へ入れ、耳や鼻のような部分なれば冷濯法を施すのであります。そして今度は手で摩擦をします。すると氣持のよい温みが出て參りますから、それまで摩擦します。そして次

に軟膏を塗るのです。軟膏にはいろいろの種類の類がありますけれども、岡村博士の推賞する軟膏の種類を御紹介致しますと。

硼酸軟膏

イヒチオール軟膏

等で又單に有り合せの

ワゼリン

ラノリン

椿油

等を塗つて綱帶をするのであります。

其豫防

凍瘡を豫防するには、先づ身體を清潔にして、末梢部の血行をよくすることであります。火に於たる場合にも、よく手の濕りけを拭き取つてから火に近づくことを忘れてはならぬのであります。耳や鼻の冷めなくなつたときには、だん／＼に温めることは前にも申した通りですが、疲勞したり

酷く空腹を感じたり、睡眠の足らぬ等の場合に嚴寒に觸れますと、よく凍互假死に陥るようなことがありますから、さういふ事のないように注意しなければなりません。

喝病 (中暑病)

醫學上ではこれを(一)日射病、(二)熱射病の二種類に分けて居ります。此の區別は原因によつて生じたもので、即ち日射病は炎暑に照りつけられて起るもので、熱射病は熱の爲めに身體に變化が起るのであります。人間の身體は仕事をしたり、物を食べたりしますと、身體に熱が起つて來ます其の起つた熱を外部に發散せしめてしまふ作用が働いて居て其の調節の宜しきを得て居るのであります。然るに他の障礙の爲めに此の調節が出來なくなつて來ますと、即ち熱の發散が止つて、熱射病に罹るのであります。又、日射病は夏の炎天に體操をして居るような場合に多く生じ、熱射病は火

夫のような人によく起るものであります。然しこれは原因の區別でありまして、日射病と熱射病とは其の徴候に判然した區別が立たないので此の二つを合して嘔病といふのであります。此の病症に罹つた者は、心臓が弱くなつて動悸がし、呼吸が苦しくなり、そして胸内苦悶なつて来ます。始め淋漓と出た汗の出が止まつて、顔が眞赤と云ふよりも、青みが、ツた赤色になつて、痙攣を起すか、又は卒倒いたします。そして昏睡の状態に陥つてしまふので、昏睡の状態が續けば續く程、其の恢復が困難なのであります。

其手當
此の場合第一に爲すべきことは着物をゆるめ空氣の流通よき場所へ出して、頭を高くして寢させるのであります。若し戶外なれば木蔭へ入れ室内なれば團扇であほいで成るべく風をあてる。頭は氷で冷すか、若し氷を得られなければ冷水澀法を

施するのであります。そして足の裏を擦つたり、マッサージをしたりして、多少呼吸が強くなつて来た處で、人工呼吸を施し、氣がついた後に、水かお茶の濃いのを吞ますのであります。若し氣のつかない以前に水を吞ましますと、水が氣道の方へ入りますから、そんな事のないように、氣がついてから吞ますことを忘れてはなりません。又水を與へるにも、一度に多量の水を吞ませては可けないので、少しづつ、數度に吞ませなければなりません。若し灌注器がありましたならば、三〇〇瓦(一合五勺)程の水を灌腸するのが一番いので、この水の分量を誤らなければ灌腸は決して害にはならぬものですから、行ふ方がよいのであります。又、一端氣がついた患者は、動もすれば眠らう眠らうとするものでありますから、努めて眠らせないうように、アンモニヤを嗅がせ若しくは膀胱部に芥子泥を塗つて失神に陥るのを防ぐのが大切であ

ります。

其豫防

總ての場合に病氣に罹つてから手當をすること
斗りが、醫者の仕事ではないので、さういふ病氣
に罹らないように豫防するが、寧ろ大切なる務め
なのであります。

腦病は日のかん／＼照つて居るよりも、曇り勝
ちな蒸し暑ひ、息苦しいと云ふような日に却つて
起るものなのであります。兵隊や火夫等が職務に
起る咽病は極めて重症でありますけれども、子供
の場合は比較的輕症なものであります。其の豫防
としては、さういふ蒸し暑い日には成るべく外へ
出さないようにすることは勿論、夜は早く寝かせ
て十分の睡眠をとらしめること、食事を規則正し
くすること、飲料水を成るべく吞ましめること、
着物を固く締めないようにする等が其の主なる豫
防法であります。

電 撃

これは電線が斷れて落ちたような場合に、これ
に觸れた爲めに生ずることもあるし、雷の落ちた
爲めにも起るものであります。多く其の場で死ぬ
のが普通であります。幸にも助つた場合には重
症なる腦震盪を起し、手足が冷くなつて顔の色が
眞青になります。手當は困難であります。然し
數日を経た後になつて助かることもある位です。か
ら、出来るだけの手當はしなければなりません。
其手當

風通しのよい所へ移し、着物をゆるめ、顔に冷
水を灌注し、頭を低くし、身體を摩擦したり、礮
砂精を嗅入させたりなどします。又食鹽の注腸を
行ひます。即ち、水一〇〇〇(五合)に對して、食
鹽九・〇瓦(二匁)を混じたもので注腸をするので
あります。この分量の食鹽を〇・九%食鹽水とも
生理的食鹽水とも云つて居りますが、この分量の

食鹽水は人間の血と同じい働きをするものであります。これで氣がつくと、今度は Hoffman 氏液（アルコールとエーテルとを混じたもの）を與へ、人工呼吸を行ひ、又次に「やけど」の章で説明するとどうやうであつて、同様な手當を施すのであります。其豫防

此の豫防は云ふまでもなく、成るべく暴風の時に戸外に行かないようにせなければなりません。若し途中で暴風雨にあつた時には、一本立の木や電柱の例へ寄らないようにすること、落雷にあつた時には、直ぐ其儘に其の處へ寢てしまふのが一番よいのであります。室内なれば、ガラスが電氣を防ぐものでありますから硝子窓を總て鎖めてしまふことでもあります、と云つて餘り密閉し過ぎると、落雷したときに反つてよくないのであります。少し開けて置くようにした方がよろしいのであります。（未完）

夏の日 (二)

○夏といへば海を思ひますが、その海上の生活を職とせる海員の人々は、自然家が留守勝ちになる。そこで母親一人の教育がつい何彼と十二分で無いようのが起る。従つて海員の子弟に教育上不成績のものが生じ易い。之れは捨て置き難い問題であると心づいて、三年前から海國母の會といふを興して居る横濱の沼田松之助氏は、今回海員の家庭に讀ませようといふので『海員兒童の教育に就いて』（非賣品）と題する小冊子を刊行せられた。其冊子には教育界の名家十數氏の此問題に關する意見の談話が收めてある。中に本會の中川會長のお話もあつてその一節に「これは至極結構な思付であると思ふから、大に勉強して調査してお貰ひたい。海員の如く生産的の事業に従事して、兩家の發展、致富に大なる貢獻をして居るものゝ子弟が、他の子弟よりも出來が悪いといふなら、これを救済するは單に海員それ自身丈けの問題ではなく社會の各人が眞面目に考慮すべき問題と思ふ」といふ意味のお話があります。斯くの如き重大なる關係ある特殊問題に就て盡力し研究せらるゝ沼田氏の篤志を多とし、兒童に關する萬般の注意及び研究が益々諸方面に行届かんことを希望に堪えないのであります